



横山 千裕 王 颯 山岸 麗菜 越後 壮平 内藤 天文 青木 瑠生 西川 元晃 秋元 良平 邊 裕明 高橋 春美 一野瀬 翔吾 石川 智崇 高田 一史 佐々木 晴也



杉本 拓弥 藤澤 伸 佐藤 基起 橋 俊明 志賀 誠 細野 恭平 荒賀 謙作 宮川 佳祐 高久 敏宏 ヴォグエンヒエブ グエン チーズン ドンヴィンチュン グエンヴァンチン 須藤 崇浩



ホアン フィミン



レホアンアイン アグンプラタマ グエンテークアン アファトフィルタウシ プーティンチュン 倪 嘉傑 ビクトールカサナス 根本 康平 坂口 淳一 古川 浩介



馮 川



郭 毅 張 臻 徐 建勇 朱 殊 高 天一 李 子玥 李 此君 小林 太郎 梶山 貴代 樋口 耕正



丁 暉



月田 小百合 新美 太基



Barreau Eddie 佐々木 智也 遠山 薫 杉政 英樹 山田 真次 高井 実 泉 聡一 中農 稔



清水 佑一 土居 真也



塚田 拓実



服部 恭子 割石 裕太 北原 壮 朽木 拓 長嶺 佑紀 菅 圭祐 氏田 雄介 佐藤 宗



内藤 賢司 山下 大介



谷脇 真琴



久田 一輝 梶井 琴絵 佐藤 裕介 首藤 まり江 高橋 祐司 矢吹 遼介 川名 宏和 岩淵 勇樹 中畑 虎也 Long Nguyen Tien Pham Tuan Anh



内藤 賢司 山下 大介



深津 康幸



岩田 慎吾 古川 瑞季 川添 昌俊 阿部 望 原 真人 神代 友行 三好 晃一 長谷川 哲士 松田 壮 梁 文森



松田 壮 梁 文森



満上 篤司



杉山 慎誠 綿引 啓太 陳 小 出沼 翔太 望月 美帆 村上 博光 橋本 和宏 林 理恵 小川 慧 小原 暢



小川 慧 小原 暢



藤田 昌春



川崎 由美子 君塚 史高 比留間 和也 中神 太郎 壁谷 麻衣 吉田 恒徳 大迫 政徳 赤崎 直樹 杉山 真一



杉山 真一



孙 婷婷



高橋 航平 橋本 大和 今川 友里 本多 大和 衣袋 宏輝 柴田 史郎 佐藤 太紀 川島 朋也 太田 信之



太田 信之



下田 芳彦



近藤 哲朗 黒田 高弘 村上 真実子 佐藤 ねじ 武田 一輝 片岡 巧 岡 百合恵 来島 政史 松村 昌宏 後藤 裕之 天野 清之 徳増 航平 三好 拓朗



三好 拓朗



橋本 雄也



藤原 俊一郎 榎村 佳奈恵 松山 太一 小澤 田喜子 亀田 京介 長嶋 健太郎 佐藤 美穂 大塚 志穂 北川 尚宏 長田 洸明 喜納 彬光 瀬戸 航 井谷 裕紀



井谷 裕紀



橋本 雄也 藤原 俊一郎 榎村 佳奈恵 松山 太一 小澤 田喜子 亀田 京介 長嶋 健太郎 佐藤 美穂 大塚 志穂 北川 尚宏 長田 洸明 喜納 彬光 瀬戸 航 井谷 裕紀

ザ・プロジェクト・ストーリー カヤック15周年

新ロゴマーク誕生！

「つくる人を増やす」ロゴとは？

十人十色ならぬ、二百人二百色。社員200人それぞれが自分の色を発揮できる、変幻自在のロゴマークが2013年7月1日に誕生しました。制作を担当したのは、アートディレクターとして意匠部（デザイナーの所属部署）を牽引する佐々木 智也と山下 大介。今回ふたりに、制作秘話を語ってもらいました。

「実は、これまでのロゴはいつの間にかできていたという感じで、使い方もきちんとしたルールがなかったので、15周年を機に作り直すことにしました」と山下はいきさつを語ります。まずは意匠部のみんなからアイデアを募集。寄せられた約100案を整理しながら方向性を絞り、経営理念である「つくる人を増やす」を表現するロゴにしよう方針が固まりました。

果たして「つくる人を増やすロゴ」とは？ 試行錯誤の末にふたりが出した答えは、「社員それぞれが自分でつくれるロゴ」でした。「3本のオールのうち、ひとつを各自がカスタマイズできるようにしました。オールって前に進むための原動力のようなものですが、それはカヤックで言うと「人」に当たると思います。一人ひとりが会社を動かしていることを、ロゴで表現しようと思ったのです」と佐々木はその意図を語ります。

野球ゲームをつくるチームの人ならバット、コピーライターならエンピツ、というように、自分の個性を表現できるキャンパスのようなロゴが仕上がりました。デザインのパターンも約150種類を用意し、自分でつくることも可能。真正正銘の「つくる人を増やすロゴ」です。しかし・・・それだけで満足しないのが、独創性を大切に面白法人。ここから、オリジナルな仕掛けがもうひとつ加わることとなります。



左が山下、右が佐々木。

「変化を恐れない」ロゴでもある。

「自分でつくれるロゴという考え方に、もうひとつ、独自性を加えてより飛躍させたいと思っていました。でも、なかなかそれが出てこなくて・・・」（山下）。悩んでいた彼らのもとに、5月下旬のある日の深夜、伊豆のとある旅館でアイデアが降ってきました。「ちょうど同じ時期にカヤックのホームページの開発合宿が伊豆で行われていて、僕はやなさん（代表 柳澤のあだ名）と山下さんと話すために、夜に訪れました。結局、話ができるようになったのが深夜2時くらいで、真っ暗な食堂に3人で座ってパソコンのモニターの明かりだけを頼りに話をしていました。そんな環境が逆に

集中力を高めてくれたのか、活発に議論が進み、ふと『これだ！』というアイデアがひらめいたんです」（佐々木）。

それは、左、右、真ん中と、好きな場所に先述の「自分の3本目のオール」を置けるというもの。左に置けば右に進んでいるように、右に置けば左に進んでいるように、真ん中に置けばまっすぐ前に進んでいるように。「どんな方向に進んで行ってもいい」という、変化を恐れない姿勢を表現したのです。

こうして、「つくる人を増やす」「変化を恐れない」というふたつのカヤックらしいメッセージを背負って、新たなロゴマークは誕生しました。今後、各自がカスタマイズしたロゴが、それぞれの名刺へとプリントされていく予定。その際は、ぜひ皆さんも、ご家族のカヤック社員から一枚受け取ってみてください。

カヤックサイト刷新！

もう、ご覧になりましたか？ 上で紹介したロゴマークと同じく7月1日、カヤックのホームページが一新されました。開発期間は約2ヶ月と一気呵成の短期決戦で、中でも伊豆で合宿を行った3週間は、食事以外はパソコンに向かって開発に次ぐ開発。娯楽は散歩と温泉だけ。そんなストイックな旅路を経て完成した自信のサイトです。

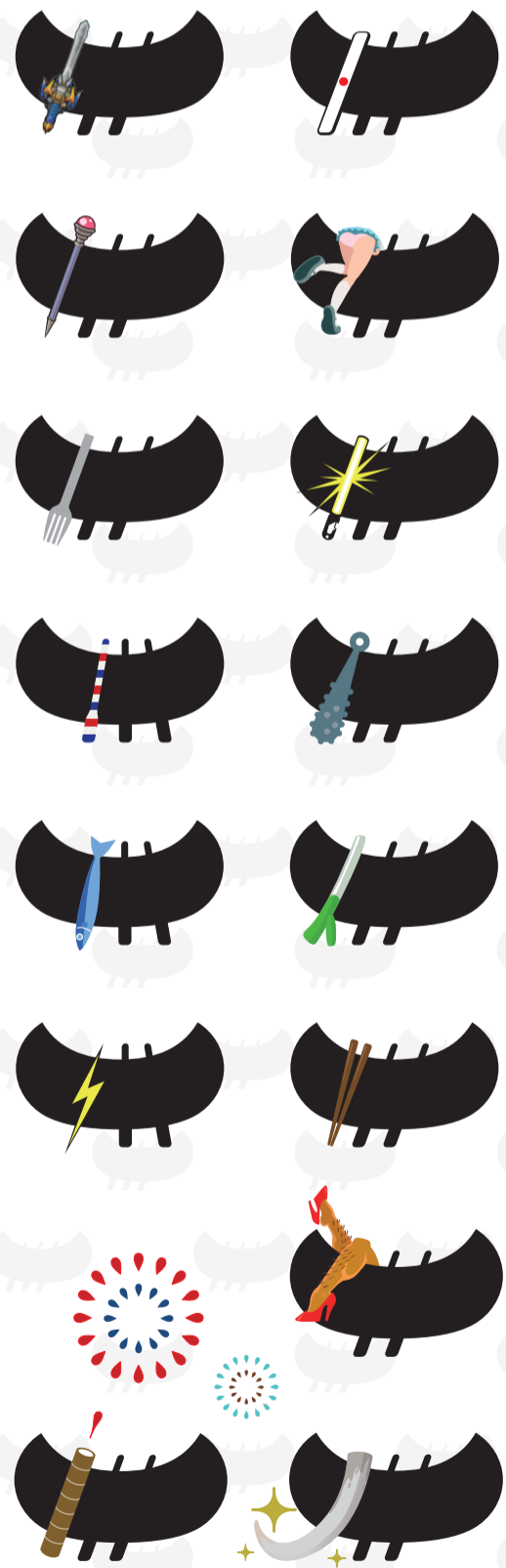
今回、ディレクターとして柳澤と共に制作の指揮を執った新卒2年目の氏田 雄介より見どころをご紹介します。「ひとつは、このサイトの顔とも言える、ニュースページです。過去15年分を見直し、やなさんとコピー部（コピーライターの専属部署）の長谷川さんと3人でタイトルなどを書き直しました。その数500本！自分でもよく頑張ったと思います。そしてもうひとつが、社員紹介ページの仕掛けです。ページの上の方のメガネのマークをクリックすると、メガネブランドのJINSさんの広告が登場します。他社の広告を入れる自社サイトなんてそうそうないので、ぜひチェックしてみてください！」



3週間の合宿を走り抜いたツワモノたち！



こちらがリニューアルしたサイト画面。
「面白法人カヤック」で検索！





法人 カヤック



代表からのごあいさつ

カヤック社員を支えてくださっている皆さまへ

2013年8月3日で、面白法人カヤックは創業15周年を迎えました。ここまで歩いてこられたのは、我々を日々サポートしてくださっている皆さまのおかげでもあります。心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

創業まもない頃、ある銀行の頭取にお会いした際に「企業においていちばん大事なのは永続させることだ」とアドバイスいただきましたが、正直あまりピンときませんでした。というのも、社会に貢献するためにこそ企業は存在すべきで、永続が目的になると手段と目的をはき違え、社会悪な企業がするする残ってしまうと思ったからです。でも、15年も続けてくると、その方の意図も少しはわかるようになりました。人にも楽しい時と苦しい時があるように、企業にもいい時と悪い時はある。そんな中で「生きていけばこそ」できることがある。また、そもそも社会に必要とされていないとすれば、自然と淘汰される。だから永続=必要とされている、ということなのでしょう。僕らがつくったカヤックは、15年ではありますが継続をしています。それはまだ社会に必要とされているということだと信じて、日々、必死に経営をしています。

実は昨年2012年のカヤックは苦しい年でした。その要因はいくつかありここでは割愛しますが、売上としては成長しているものの投資過多により赤字となってしまいました。それによってみんなに苦しい思いをさせることとなりました。ですが、2012年度中にさまざまな改革をし、2013年に入ってから業績も計画通りとなり黒字化しております。賞与も年に2回から4回のサイクルに変え、より業績と連動する形にし、この第1・第2四半期は、無事に支給することができました。苦しい時にも励まし合って一緒に闘ってくれた社員みんなと、家族の方々のおかげです。心から感謝を申し上げます。

そして今年はさらに大きな変革を進行中です。事業ドメインを180度転換して自社サービスに注力。コア事業以外は譲渡や別会社化したり、リーダー陣も新旧交代。またロゴマークも刷新しました。企業を永続させるためには、常に変化が必要です。次の15年に向けて邁進してまいります。引き続き温かいご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

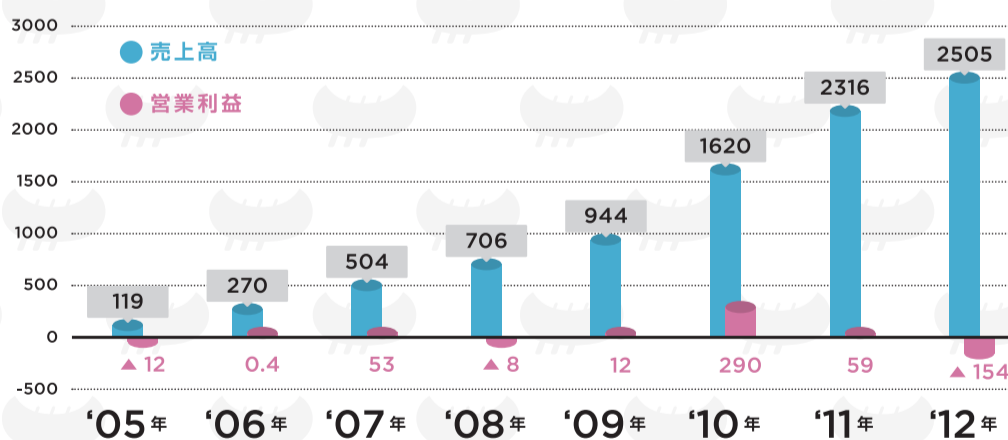
代表取締役

柳澤 大輔 貝畑 政徳 久場 智喜

財務ハイライト

カヤックの財務状況を、これまでの推移と共に、簡単にご紹介します。

売上高推移 単位：百万円



POINT 1

2012年度は、毎年継続してきた増収は維持したものの、利益面では赤字となってしまいました。これは、市場環境の変化に伴う業態改革や、オフィスの横浜一本化などの積極的な投資が起因しています。

POINT 2

前号の「カゾック」では、ホップ！ステップ！ジャンプ！と、およそ3年周期で業績が拡大しているとお伝えしました。2011年度のホップ（人財投資）、2012年度のステップ（業態改革）を受け、2013年度以降の大きなジャンプを目指して、今のところ順調に推移しています。

貸借対照表 単位：百万円

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	1,278	流動負債	568
固定資産	398	固定負債	593
資産合計	1,676	負債合計	1,162
		純資産の部	
		純資産合計	514
		負債・純資産合計	1,676

損益計算書 単位：百万円

売上高	2,505
営業利益	△154
経常利益	△158
当期純利益	△122

カヤックからのお知らせ

事業部トピックス カヤックのメイン事業の今をお話します。



Lobi ディレクター
片岡 巧

2010年に生まれたグループチャットアプリ（※1）「ナカマップ」は、ゲーム専用サービスへと舵を切り、今年5月に「Lobi」として生まれ変わりました。この名前は、ゲームプレイヤーが待ち合わせをする「ゲームロビー」という言葉から着想しているんです。現在、会員数は500万人以上！ゲームを中心に60アプリ以上と連携し、社内でも最注力の事業となっています。目指すは国内市場No.1のゲームコミュニティアプリ。新しい体験を提供し続け、その座を勝ち取ります！



ロゴマークもゲームをイメージ。Lobiの各デザインを手がける古川 西宏が制作を担当しました。



ソーシャルゲーム ディレクター
後藤 裕之

ソーシャルゲーム・チーム（※2）で今、最も力を入れているのが、クイズゲーム「冒険クイズキングダム」。現在、なんと150万人以上の方にプレイしていただいています。スマホのソーシャルゲームというと、ひとりで黙々と遊ぶイメージが強いですが、このゲームは家族でクイズ番組を観ている時のようにみんなでワイワイ考えながら楽しめるものを目指しています。問題数は40万問以上！家族団らんのひとときを盛り上げる「クイキン」を、よろしくお願ひします！



まだ遊んでいない方は、今すぐダウンロードを！ iPhone、Android ケータイで楽しめます。



クライアントワーク ディレクター
岩田 慎吾

クライアントワーク・チームでは「とにかくバズる（＝話題化する）」を合言葉に、世間を驚かすような新しく、面白い仕事にチャレンジしています。最近ではPCサイトの開発にとどまらず、イベントで使うデジタル装置や、テレビ番組を観ながら楽しめるスマートフォンアプリの案件が増えてきて、仕事の領域も拡大中。僕は企業のプロモーションをお手伝いする部署ですが、同時にカヤックのブランド力を上げられる仕事もたくさんつくっていきます！



毎日新聞×Googleの「未来をつくろう」プロジェクト。ネット選挙元年の参院選を盛り上げるためお手伝いしました！



飲食事業部 ディレクター
黒田 高弘

鎌倉本社の1Fで展開する飲食店「DONBURI CAFE DINING bowls」が、満を持してオリジナルのラスクを発売しました。その名は「しらすく」。しらす+ラスクという意外な組み合わせによる美味しさで、早くも鎌倉の新名物に！また、開店5周年を迎え地元への感謝の気持ちを込めて、市内在住の方に飲み物を1杯無料で差し上げる「鎌倉割」というサービスも開始しました。美味しいだけではなく、楽しくなければ！これからも、ユニークな活動を展開していきます！



10枚入り680円（税込）で絶賛販売中！鎌倉にお越しの際は、ぜひお試しください！

※1 グループチャットアプリ：ネットを使って文字で会話できるシステム。「LINE」などが有名。 ※2 ソーシャルゲーム：ネット上で友達や仲間と協力しながら遊ぶゲーム。

ヨコハマ集結！

2012年9月に新支社「ヨコハマ展望台オフィス」を設立！社員の増員にともなって分断されていた拠点を、横浜に一本化しました。ただし、カヤックの将来的なビジョンは、鎌倉にクリエイターが集うキャンパスのような空間をつくること。今回のヨコハマ支社の設立は、そのためのワンステップです。



photo by Fuminari Yoshitsugu

152mのビル最上階からは、富士山も臨めます！

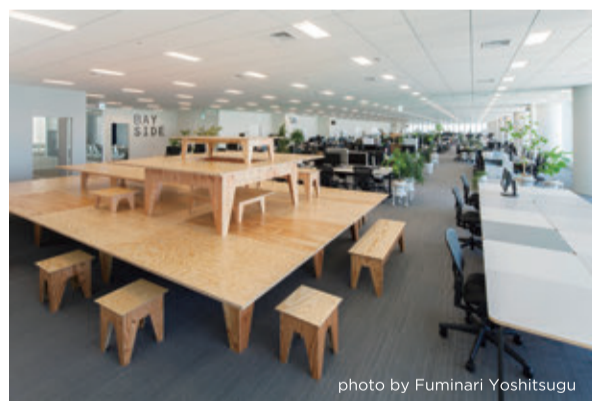


photo by Fuminari Yoshitsugu

デスクが積み重ねられた「猿山」と呼ばれるエリアが！

カンヌ獲得！

制作をお手伝いしたイベント「VOICE DRIVER」（日産自動車）が、クリエイターが憧れる世界一の広告祭「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル2013」でブロンズ（銅メダル）を受賞！当プロジェクトは、iPhoneのマイクに向けて声を出すとミニカーが走るという、世界初の“声でクルマを運転する”モータースポーツ。1万人以上がイベントを楽しみました！



横浜の「日産 グローバル本社ギャラリー」で開かれたレースイベントにて。

社員からのスマイル給

カヤックには、「スマイル給」という制度があります。これは、毎月、社員全員がランダムに選ばれた誰かひとりの長所をコメントし、それが相手の給与明細に記載されるというもの。仕事の喜びは、お金で測れるものだけじゃない。お金に換えられない報酬も、価値を生むことを伝える試みです。今回、「カゾック」をお届けした、私たちの大切な方への「スマイル給」をお贈りします。

TO

FROM